

市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

2007年

2月号

平成19年1月25日発行
通巻98号



◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www-1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります！

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／オールウェイズ(津センターバレス1階)／津中央郵便局ボランティアコーナー／(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●特定非営利活動法人みえきた市民活動センター ●四日市市●四日市市市民活動センター／寺子屋プロジェクト ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中京大学／松阪市市民活動センター／松阪まちづくりセンター『まちなか松阪「寸庵」』 ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／伊勢市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾート赤目の森／名張市市民活動センター／くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町●明和町市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町町民文化会館

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店／メディカル光各調剤薬局
【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県栄町庁舎(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／富宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンドみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町役場

人と道 ここで ここに ここから 三重県立熊野古道センター開館

「熊野古道センターの役割」 熊野古道センター長 花尻 薫

紀伊山地の霊場と参詣道が世界遺産に登録されて3年目のこの時期、三重県立熊野古道センターが尾鷲湾を望む絶景の場所に、平成19年2月オープンいたします。

熊野古道センターは世界遺産という重要なエリアにあり、三重県・和歌山県・奈良県の世界遺産の範疇の中では最大の施設であります。ここは、国内はもちろん世界に向けた情報の発信基地であり、熊野という広域の自然・歴史・文化をくまなく取り入れた展示物と、多様なイベントを企画して、東紀州といわれる地域の中心的な役割を期待されています。



世界遺産に登録されたすばらしい伊勢路の石畳道と、巡礼が歩いた七里御浜と熊野川、信仰のメッカ花の窟、鬼ヶ城・獅子岩も世界遺産の仲間入りをしました。

世界遺産登録以前と直後はバスツアー客が大部分を占めた熊野古道も、本来の姿であるグループ・ファミリー・若者と来訪者が変化しつつあります。個性にあった旅をめざす古道客が多くなりました。

これらの来訪者の方々に広大な地域、熊野の魅力をご案内するのが熊野古道センターであります。多くの方々が熊野古道伊勢路に親しみ、ここを訪れていただいで豊かな熊野古道の、奥深い魅力を感じていただければ、この上ない励みとなります。

常設展示室・多目的交流ロビー・体験学習室などを含めた尾鷲ヒノキで造られた2棟の木造建物と収蔵庫や研究スペースがある研究収蔵棟が、敷地約3万9千平方メートルの場所にあり、総工費約21億円の施設です。古道センターにふさわしい木造建築として多くの来館者の皆様楽しんでいただくことができるよう、NPO熊野古道自然・歴史・文化ネットワークのメンバーと職員一同が地域の皆様と手を携えて熊野古道センターの充実努める所存でございます。多くの方々の御来場をお待ちしております。

【三重県立熊野古道センター開館記念行事】

- とき／2月10日(土)9:30-14:30
- ところ／熊野古道センター芝生公園(雨天時交流棟)
- 内容／9:30～オープニング『向井子供太鼓』尾鷲市向井小学校
10:00～『太鼓演奏・賀楽多』『孫太郎太鼓』『権兵衛踊り』紀北町
11:00～『六法行列』熊野市
12:00～『尾鷲小学校ハレヤ節』尾鷲小学校5年生
12:30～『平尾井踊り』(予定)紀宝町
13:00～『阿和田獅子舞』御浜町
13:30～『尾鷲節』『長浜節』『寄せ太鼓』



その他、11:30から大敷汁ふるまい(注:なくなり次第終了)、開館記念物産展、餅まきを開催。

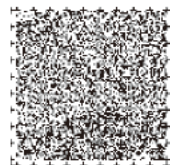
18:00(開場17:30)から交流棟ロビーにて『オープニング記念邦楽コンサート』。熊野古道センターオープンを記念して林哲司作曲による『邦楽合奏曲・熊野古道』が初演されます。美空ひばりから中森明菜まで作品提供するポップス界の巨匠・林哲司氏による初の邦楽作品です。

●主催／三重県立熊野古道センターイベント実行委員会

……イベント紹介、次ページに続く

SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

三重県立熊野古道センターイベント情報

【企画展示】

開館記念特別展「絵図にみる巡礼道中の人々」

●とき／2月10日(土)～3月18日(日)

●内容／三重県立博物館と共催で、西国三十三所巡礼を中心とした昔の道中及び旅をする人々(巡礼者)を紹介する特別展「絵図にみる巡礼道中の人々」を開催します。

【講演会】

開館記念講演会「熊野古道センターと東紀州地域の未来」

●とき／2月24日(土) 13:30～

●内容／熊野古道センター開館を構想から支えてくださった海の博物館館長、石原義剛さんに、センターの今後の活動やビジョン、東紀州地域への貢献について語っていただきます。

「熊野古道から学ぶ」

●とき／3月1日(木) 18:30～

●内容／熊野古道を育み守ってきた、自然、人、暮らし、風習などを学び、現代に生きる私たちの暮らしや生き方のヒントを探ります。講師は御浜町文化調査員・語り部友の会幹事、渡辺芳遠さん。

【交流イベント】

木の建築フォーラムin尾鷲

●とき／3月10日(土)～3月11日(日)

●内容／NPO法人「木の建築フォーラム」と共催で、全国各地で「地域材を生かした家づくりと生産ネットワーク」を实践されている方々が集い、語り合うフォーラムを開催します。

【体験学習】

東紀州地域の豊かな自然や文化等を生かし、参加者自らが体験することにより、自然の素晴らしさや優れた文化を学ぶ体験学習を開催します。開催時間、参加費等の詳細な内容はお問合せください。

●とき・内容・講師／2月18日(日)料理教室I(地元産ブリを一本使った料理) 三重県立相可高校教諭、村林新吾さん

2月21日(水)障害者のためのフラワーデザイン教室
熊野古道センター副センター長、池田比早子

2月24日(土)折り紙教室

NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク理事、七見憲一

2月25日(日)アラカン植樹

熊野古道センターセンター長 花尻 薫

3月4日(日) ヒノキアート教室

熊野古道センター副センター長、池田比早子

●問い合わせ先／519-3625 尾鷲市大字向井12-4

三重県立熊野古道センター

Tel.0597-25-2666 Fax.0597-25-2667

つながる



つなげる

22 県ボランティアセンター 北出真由美
コーディネーター

またまた宣伝になってしまうのですが、写真のパンフレットは私の所属する三重県社会福祉協議会が発行したもので、県内の社会福祉協議会の活動を紹介したものです。タイトルは、そのもの「地域福祉活動事例集」で、県内の各市町の社会福祉協議会に設置してあります。(部数に限りはありますが…)

このニュースを読んでくださっている皆さんの中にも「社会福祉協議会」って名前は聞けれど、具体的にどんなことをしているところなのか、詳しく聞いたことはないという方がおみえになると思います。そんな皆さま、是非これを読んでみてください!そうしますと「社会福祉協議会」ってこんなことしてるんだ、いろんなことしてるんだなあといったことが分かっていただけたと思います。今回発行したのものには9つの社会福祉協議会の事例を掲載しているのですが、順次発行していき、県内29の全市町社会福祉協議会の紹介をしていく予定です。

こうしたパンフレットを通じて、多くの人々に「社会福祉協議会」を知っていただき、さらにスポーツマンにもなっていただきたい!そして、そのために、社会福祉協議会の職員は日々業務に励んでいます!



みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ
特定非営利活動法人(NPO法人)申請は1団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民センターに備え置いてあります。

●認証申請団体

(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
【1】(1)木曾川文化研究会(2)久保田 稔(3)桑名市長島町大倉1番地106
(平成18年12月10日～平成19年1月9日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)
やさと伊坂・山村ダム公園化推進協議会(平成18年11月27日)
スポーツクラブどんぐり(平成18年12月5日)
かもめ(平成18年12月11日)
太陽光発電所Eーライフネット(平成18年12月12日)
(平成18年12月10日～平成19年1月9日届出分)

イベントスケジュール



文化芸術体験
伊藤文吾ひとり芝居「鮭の子さすけ」

●とき／2月3日(土) 18:30開演

●ところ／四日市市立労働福祉会館

●参加費／特別会員券前売2000円、当日2500円

●内容／鮭の子「さすけ」は、川を下って大海原をめざします。ちっちゃな胸はドキドキ、不安もいっぱい…。対象は小学1年生から。

●問い合わせ先／510-8014 四日市市富田1丁目8-11

子育て広場:ドロッピン Tel.&Fax.059-363-3728

E-mail smile_dropin@yahoo.co.jp

ホームページ http://www.geocities.jp/smile_dropin

●おひなさまめぐりin二見

●とき／2月4日(日)～3月4日(日)9:00～18:00

●ところ／伊勢市二見浦

●内容／展示参加施設は全103軒、総計5,000体ものおひなさまが二見浦の町並みを彩ります。また、町並みの店々の軒先には、餅花飾りや菜の花が皆様を優しくお出迎えます。

●問い合わせ先／伊勢市二見総合支所 地域振興課

Tel.0596-42-1111 Fax.0596-43-3754

E-mail fu-chiiki@city.ise.mie.jp

ホームページ <http://www.ohinasamameguri.com/>

●主催／おひなさまめぐりin二見実行委員会、NPO法人二見浦・賓日館の会

●アムネスティ三重学習会 人道支援とは何か?

～北朝鮮人道支援ネットワーク(ハンクネット)ジャパンの活動から考える～

●とき/2月10日(土)開場13:30 開始14:00

●ところ/みえ県民交流センター交流スペース6~8

(津駅前アストビル3階 Tel.059-222-5995)

●参加費/無料

●内容/講師の竹本昇さんが代表世話人を務めるハンクネット (<http://www.hanknet-japan.org/>)は飢餓にさらされた北朝鮮の乳幼児に粉ミルクなどの食糧支援を行うため、会員が直接粉ミルクを乳児院に届け、パッシングにさらされながらも日朝友好に草の根で取り組む団体です。日本の北朝鮮報道と彼らが直接目にした北朝鮮とは何が違うのか、この機会に考えてみてください。

●主催・問い合わせ先/アムネスティ・インターナショナル三重(第129G・土星)(担当:猪島 克)Tel.090-1478-1508

E-mail dosei@jade.plala.or.jp



バレンタイン♡フェアトレード♡カフェ

●とき/2月11日(日)11:00~16:00

●ところ/アスト津3階交流スペース(津駅東口)

●内容/オーガニックカカオを原料に作られたフェアトレードチョコレートをバレンタインデーに贈ってはどうですか。あなたの愛が世界中に届きます。

●主催/EDSin三重、フェアトレードコーナー抱



青春キネマ館特別上映会 大映名作映画連続上映第2弾

巨匠 溝口健二没50年企画「新・平家物語」

●とき/2月16日(金)11:00、13:00、20:00

(1日3回のみ上映)

●ところ/伊勢進富座(Tel.0596-28-2875)

●料金/前売1回券1000円 2回券1800円、当日1200円

※2・3月連続上映。両作品共、ご覧になる方は2回券がお得です。

●内容/世界で最も尊敬されている日本映画史上の巨匠、溝口健二の没50年を記念して、監督作を2、3月に渡り、連続上映します。「新平家物語」は吉川英治の同名小説を映画化した気品ある歴史絵巻。若き日の平清盛を演じた市川雷蔵の魅力と、絢爛たる映像美が見事な作品です。共演は久我美子、木暮実千代。劇場の大スクリーンでしか体験できない、至福の時を味わってください。

●主催・申込・問い合わせ先/青春キネマ館&キッズシアター実行委員会 Tel.0596-23-0839(受付時間19:00~22:00)



ファシリテーター養成講座2007

●とき/2月17・18日(土・日)両日共10:00~16:00

●ところ/津市市民活動センター会議室1

(津市大門7-15 津センターパレス2階)

●参加費/一般4000円、会員3500円(2日間)

●内容/組織のミッション達成のための事業の円滑な展開と手法

を学びます。講師はえふらぼ主宰の栗本敦子さんです。

●募集人数/21人(定員になり次第締切)

●申込方法/チラシ、ホームページ、電話、Fax、郵送。

●申込・問い合わせ先/514-0027 津市大門7-15 津センターパレス3階 津市市民活動センター(担当:川北、三好)

Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201

E-mail tsusimim@zvtv.ne.jp

ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/tsusimim/>



川づくり会議みえ第27回勉強会

●とき/2月18日(日)14:00~

●ところ/JA農協ビル 大会議室

(津市栄町1丁目960番地)

●内容/「ほ場整備」に代表される農業基盤整備は、農業生産性向上、農作業省力化に大きく貢献し、わが国農業の維持・存続や食糧確保に重要な役割を果たしてきました。一方、人々とともに水田に息づいてきた多種多様な生物の生息環境は、これら農業基盤整備が進むとともに狭められ、最近では多くの水棲動物等が絶滅の危機に瀕しています。このようなところから、農地が果たしてきた生物生息環境の場の保全や、河川~ため池~水路~水田の連続性の確保をめざして、市民参加による農村の生物生息環境の保全を考える勉強会を開催します。当日は名古屋大学大学院環境学研究科・地球環境科学専攻助教、高野雅夫先生の講演のほか、事例発表、意見交換会を行います。

●応募締切/2月9日(金) ●申込方法/郵送、Fax、E-mail

●申込・問い合わせ先/川づくり会議みえ(事務局:久世)

Tel.090-5637-0727 E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp



ドイツ料理教室

●とき/2月18日(日)13:30~15:30

●ところ/アスト津5階「食工房」

(津市羽所町700番地 Tel.059-222-2525)

●参加費/材料費と会場使用料の実費

●内容/三重日独協会会員の千島里美さん(ドイツ在住6年の経験をお持ちの方)を講師に迎えて、ドイツ料理を学びます。献立は鶏肉のフリカッセ(鶏肉の煮込み料理で、ライスかパイ生地を焼いたものを添えます)、緑のサラダ、ホイチゴの果汁入りプディング。

●持ち物/エプロン、台布巾、皿布巾

●応募締切/2月15日(木) ●主催/三重日独協会

●申込・問い合わせ先/向井明子 Tel.059-232-0594

E-mail mukai@zvtv.ne.jp

指導者養成講座「みえ環境学習セミナー」スキル・アップ講座

【たべものを通して環境のつながりについて考えよう!】

●とき/2月25日(日)受付12:30~ 13:00~16:00

●ところ/四日市地域総合会館 あさけプラザ



これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

活動の効果的なPRは大切です!

市民活動やボランティア活動にとって実際にイベントなどを行った後、会員を集めるためにどのように効果的な広報を行っていくのかは、切実でとても重要な課題です。12月19日にMPDルーム助成金贈呈式の後に行われた「ボランティア・市民活動団体・企業交流会」でも「どんな風に情報発信していますか?どうやって活動を広げたいの?」をテーマに参加者の意見交換が行なわれました。

チラシやクチコミからホームページや地元のマスコミの活用に至るまで、様々なPR方法についての意見が出たなかで、チラシや広報紙の作成の手間や、ホームページの更新が大変なこと、マスコミになかなか取り上げてもらえないことなど共通の悩みが語り合われました。

どうやらお勧めの方法は、ケーブルテレビや地元ローカル紙の活用にあるようです。確かに地元へのPR効果は抜群ですね。他の団体の活動を知ることは参加者にとって大変参考になったようです。

三重県生活部NPO室 堀木俊哉

(四日市市下之宮町296-1)

●内容/身近なたべものから、環境問題・社会問題のつながりが相互に影響し合い、複雑に絡み合っていることをワークショップを通して考えます。環境問題は自分たちの生活に直接関係することとして関心を持ち、問題の解決につなげるために行動することが大切です。私たち一人ひとりの力は小さいけれど、どうしたら持続可能な社会を築くことができるか一緒に考えましょう。講師は省エネルギー普及指導員の大東満希子さんです。

●募集人数/24人(応募者多数抽選)

●応募締切/2月12日(月)必着

【地域通貨について考えよう!】

●とき/3月3日(土)受付13:15~ 13:30~16:30

●ところ/フレンテみえ2階セミナー室B

(三重県総合文化センター内 津市上津部田1234)

●内容/地域通貨についてワークショップを通してわかりやすく学びます。講師は四日市市を中心に流通している地域通貨「Jマネー」を運営している海山裕之さん。地域通貨で循環型社会を目指そう!

●募集人数/20人(応募者多数抽選)

●応募締切/2月19日(月)必着

(以下、両企画共通)

●参加費/無料

●申込方法/希望講座名、氏名、住所、連絡先(Tel、あればFax、E-mail)、普段の活動(職業や活動している団体名などを簡単に)を明記し、Fax、E-mail、郵便のいずれかで下記まで。

●申込・問い合わせ先/512-1211 四日市市桜町3690-1 三重県環境学習情報センター(担当:古川)

Tel.059-329-2000 Fax.059-329-2909

E-mail center@eco.pref.mie.jp

認知症について学ぼう!

自ら取り組もう。みんなで取り組もう。

●とき/2月25日(日)受付13:00 13:30~15:00

●ところ/員弁コミュニティプラザ2階集会室 ●参加費/無料

●内容/認知症や認知症を予防するための具体的な取組について学んでいただくための講演会です。講師はスリーA(明るく・頭を使って・あきらめない)の増田未知子さん。映画「折り梅」に登場する認知症の教室を作られた方です。

●応募締切/2月16日(金) ●申込方法/電話

●申込・問い合わせ先/いなべ市社会福祉協議会本所

Tel.0594-78-3543 Fax.0594-88-1052

企業&NPO協働アイデアコンテスト

●とき/2月27日(火)15:00~

●ところ/名古屋栄ビル12階大会議室

●参加費/無料(要事前申込)

●内容/中部で活躍中のNPO団体から募集した企業との協働のアイデアから、優秀なものを発表、表彰します。参加者の皆さんにも、審査員として清き一票を投じていただく予定です。

●申込・問い合わせ先/461-0008 名古屋市東区武平町5-1 名古屋栄ビル10階 財団法人中部産業活性化センター(担当:榎原、平井) Tel.052-961-7650 Fax.052-961-7670

第10回あけぼの会三重支部おしゃべり会

●とき/3月1日(木)11:00~14:00

●ところ/アスト津3階みえ市民活動ボランティアセンター ミーティングルームA(津市羽所町700)

●内容/乳がん体験者の方ならどなたでもどうぞ。リンパ浮腫のマッサージの方法のビデオ学習。予約不要。

●問い合わせ先/小野 Tel.0596-25-3426



World Wide Volunteer講座 ~地域から世界が見える~

●とき/3月10日(土)13:00~16:00

●ところ/みえ市民活動ボランティアセンター交流スペース

●参加費/無料 ●応募締切/3月8日(金)

●内容/定年退職者の方たちが持つ長年培った知識、経験、技術を今後、社会貢献活動に活かしてもらおうきっかけづくりとして、すでに活躍されているシニア世代の体験発表とボランティア参加説明会を行います。発表者は海外ボランティアの立木清廣さんと地域でボランティアを行っている松本恵美子さん。参加説明会にはJICA、三重県国際交流財団、三重県ボランティアセンターが参加します。

●主催・申込・問い合わせ先/みえ市民活動ボランティアセンター(担当:亀山、紀平、三好) Tel.059-222-5995

Fax.059-222-5971 E-mail center@mienpo.net



平成18年度市民公益活動実践事業

みんな大好きな食品添加物のオ・ハ・ナ・シ

「食品の裏側」講演会

●とき/3月10日(土)開場13:30 14:00~16:00

●ところ/名張市青少年センター ●募集人数/定員700人

●内容/講師は食問題ジャーナリストで「食品の裏側」の著者である安部司さんです。

●応募締切/2月10日(土)予定(定員になり次第締切)

●申込方法/往復はがき。往信ハガキ裏に参加希望者全員の氏名、代表者の氏名と住所、電話番号を記入し、下記まで。

●申込先/518-0441 名張市夏見2812勤労者福祉会館1階 名張市市民活動センターメールボックスNO.1

●問い合わせ先/子ども支援センターかがやき

Tel.0595-67-0250

カウンセリング実践研修会

●とき/3月11日(日)10:00~16:00

●ところ/三重県総合文化センター フレンテセミナー室B

●参加費/一般3000円、会員2500円

●内容/カウンセリングを生かしたコミュニケーションを学ぶワークショップ。「相手の気持ちを受け止める聴き方」「肯定的なメッセージの表現」など教育福祉医療の現場や暮らしに役立つカウンセリング的対応を体験的に学びます。

●募集人数/30人 ●応募締切/2月20日(火)

●申込・問い合わせ先/514-0834 津市大倉13-19アコギビル NPO法人みえ親子・人間関係研究会 Tel.&Fax.059-

246-5562(事務所) Tel.090-7047-2525(河合携帯)



家族でお泊まり

●とき/3月17日(土)13:00~18日(日)14:00

受付は3月17日(土)12:45~13:00

●ところ/大杉谷林間キャンプ村(多気郡大台町大杉)

●参加費/子ども7500円、大人8500円、幼児4000円

●内容/大杉谷の森を春の訪れを感じながら散策したり、宮川へ魚釣りに出かけたり、火おこしに挑戦してアウトドアッキングを楽しんだりします。幼児向けに別プログラムも用意します。

●募集人数/30人(8家族限定)

●申込・問い合わせ先/519-2633 多気郡大台町久豆199 大杉谷自然学校 Tel.0598-78-8888

Fax.0598-78-8889 E-mail osn@ma.mctv.ne.jp

第3回デュアスロンin美杉

●とき/3月18日(日)受付8:00 開会式8:30

スタート9:00(雨天決行)

●ところ/レークサイド君ヶ野を起点とする美杉町広域

●参加費/一般4000円、高校生2000円

(保険料、昼食代、入浴等施設利用料)

●内容/ラン1周6.3km~バイク(自転車)1周36km~ラン2周12.6km。美杉町を縦横無尽、隅々まで走り地域を知りましょう。なお、大会を手伝ってくれるボランティアも募集中。中学生以上で、ボランティアを希望する方は下記までハガキで申込みを。

●持ち物/ヘルメット、バイクスタンド

●募集人数/50人(定員になり次第締切)

●応募締切/2月28日(水)

●申込方法/参加申込書を郵送で。参加料は郵便小為替か現金書留で送付。

●申込・問い合わせ先/514-0004 津市栄町3-277 YAD A CYCLE Tel.059-226-2525 Fax.059-225-2525

E-mail yada_cycle@ybb.ne.jp

ホームページ http://www.geocities.jp/yada_cycle/

フリーマーケット情報

フリーマーケットin四日市ドームVOL.23

●とき/2月18日(日)10:00~16:00

●ところ/四日市ドーム(四日市市大字羽津甲5169)

●入場料/前売315円、当日525円

●内容/参加700ブース。ウルトラビンゴゲームも開催。

●主催・問い合わせ先/特定非営利活動法人MFA

Tel.059-320-0133 Fax.059-320-0134

E-mail webmaster@mfa.gr.jp

ホームページ http://www.mfa.gr.jp

助成金 ニュース

平成19年度MIEF国際化推進事業助成金

●受付期間/2月1日(木)~28日(水)17:00必着

●助成の対象となる団体/1.三重県内に拠点を置き、地域に根ざした国際交流活動に積極的に取り組んでいる団体。

2.三重県内の国際交流団体で構成する団体。

●助成の対象となる事業/1.地域住民と外国人の相互理解を促す事業。

2.在住外国人に対する支援を図る事業。

3.国際交流に係る地域の担い手の育成を図る事業。

4.国際協力に関する事業。

5.その他、地域の国際化を推進する事業で、特に必要性が認められるもの。

●対象事業の期間/平成19年4月1日~平成19年9月30日

※平成19年10月1日~平成20年3月31日に実施される事業は平成19年7月に募集があります。

●応募方法/返信用封筒に90円切手を貼り、住所・氏名を明記のうえ、「平成19年度MIEF国際化推進事業助成金資料希望」として資料を請求するか、ホームページからダウンロード。

●問い合わせ先/(財)三重県国際交流財団 514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 みえ県民交流センター内(担当:筒井、小嶋) Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007

E-mail mief@mief.or.jp ホームページ http://www.mief.or.jp

第5回マイクロソフトNPO支援プログラム

●受付締切/2月20日(火)24:00必着

●助成の対象となる団体/1.日本国内に拠点をもち、日本国内で活動する非営利団体。

2.応募時点で2年以上の活動実績を有する団体(法人格の有無・種類は不問)。

3.基本的なITの使用が可能であり、応募プロジェクトを実施可能なITスキルを持ったスタッフを有する団体。

●助成の対象となる活動/社会的課題をより効果的、効率的に解決するためにITを活用した、斬新的なプロジェクトを支援します。以下のテーマのうちい

れか、もしくはすべてに当てはまるプロジェクトを助成の対象とします。社会的課題のテーマ、団体の活動分野は問いません。

・ITを活用して「社会的課題の解決を目指す」活動

・ITを活用して「人々の可能性を最大限に引き出す」活動

●対象事業の期間/平成19年7月1日~平成20年6月30日

●助成の額/1件あたり上限300万円、総額2,000万円

●応募方法/応募用紙をダウンロードし、E-mailに添付して送信。

●問い合わせ先/マイクロソフトNPO支援プログラム

E-mail jnp5@microsoft.com

ホームページ http://www.microsoft.com/japan/citizenship/ca/np0/default.mspx ※問い合わせ、応募用紙の提出はE-mailのみ。

第6回井植記念「アジア太平洋文化賞」

●受付締切/2月28日(水)消印有効

●助成の対象/アジア太平洋地域における文化的・社会的な実践活動を通じて、国際交流や地域発展に顕著な貢献をした個人または団体。国籍や所在地は問いません。

●受賞者数と賞/受賞者数は1名または1団体。正賞および副賞500万円。

●応募方法/推薦書はホームページからダウンロード可。

●問い合わせ先/「アジア太平洋フォーラム・淡路会議」事務局

651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 国際健康開発センター2階(財)兵庫県国際交流協会内 Tel.078-230-3090

Fax.078-230-3280 E-mail isd@net.hyogo-ip.or.jp

ホームページ http://www.awaji-conference.com/

(社)全日本冠婚葬祭互助協会 第8回社会貢献基金

●受付締切/2月28日(水)必着

●助成の対象となる団体/非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループも対象)又は大学、研究機関(個人も可)で、今回募集する助成対象事業の趣旨に合致する事業を行おうとしている団体等。(個人資格による申請については、研究助成分野以外は対象外)

●助成の対象となる活動/

【(1)研究助成事業】テーマ「婚礼(結婚式)、葬儀(お葬式)など儀式文化の調査研究」。

【(2)高齢者福祉事業】心身の機能が低下した高齢者などを対象に、一般的な在宅福祉対策で対応困難な分野や従来の施策等では十分福祉の推進が図られていない分野での支援活動。

または、ニーズの高さ等地域の实情に照らし必要と認められる高齢者の自己実現・自己表現を図るための支援活動や福祉活動。

【(3)障害者福祉事業】重複障害、難病に起因する障害を持った障害児・者を対象に、一般的な在宅福祉対策では対応困難な分野や従来の諸施策等では十分福祉の推進が図られていない分野での支援活動。または、ニーズの高さ等地域の实情に照らし必要と認められる障害児・者の自己表現・自己実現を図るための支援活動や福祉活動。

【(4)児童福祉事業】保護者等が死亡又は著しい後遺障害のため働けなくなった家庭の児童、引きこもり、不登校の児童を対象とした支援・慰問活動、その他児童の健全育成等に関するボランティア活動。

【(5)環境・文化財保全事業】日本国内における植林、野生生物保護、公害防止等の活動、地域の住民の参加を経て行う文化財保護活動、リサイクル活動その他地域住民にとって重要な意義を有する実践活動。

【(6)国際協力・交流事業】開発途上地域、紛争地、被災地における、医療活動、食料・物資援助、教材・学校建設など人材育成を目的とした国際協力・支援活動。国際交流を目的とする事業(懇親会・パーティー等は対象外)

●助成の額/総額およそ1000万円。1件当たりの助成額上限は200万円。但し、研究助成事業においては、上限100万円。

●応募方法/募集要項はホームページにて閲覧可。申請用紙をダウンロードして作成のこと。応募書類の提出は郵送にて。

●問い合わせ先/(社)全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金 運営事務局

105-0001 東京都港区虎ノ門3-6-2 第2秋山ビル7階

Tel.03-3433-4415 Fax.03-3435-0880

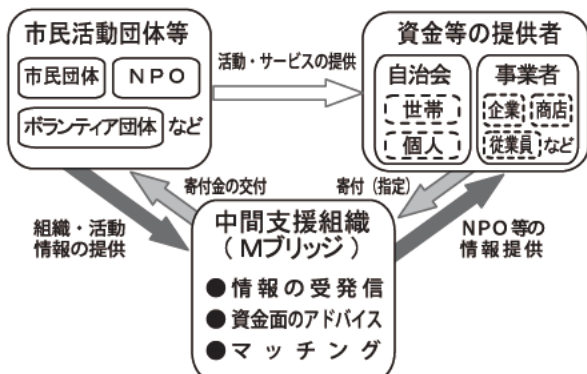
ホームページ http://www.zengokyo.or.jp/

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。

(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ http://www.jfc.or.jp/

今月特集 資金地域モデル事業「資金の森」

松阪市市民活動センター（運営団体：NPO法人Mブリッジ）ではNPO団体や市民活動団体の活動を、もっと根の張った活動にしていってもらうために、資金面の応援をしていく資金地域モデル事業「資金の森」に取り組んでいます。



資金地域モデル「資金の森」の概念図

●「資金の森」とは？

今、自分たちが暮らしている地域の問題に取り組む市民活動団体が増え始めています。例えば子供の小学校区に分かれて防災や防犯に対する体勢を整えていくことなどは地域に根ざした活動といえるでしょう。

そういった限られた地域の諸問題を解決していくためには、その地域に住んでいる人たち「市民」と「市民活動団体、NPO団体」との連携を促すことは中間支援の役割を担う市民活動センターにとって欠かせないものと考えます。

「資金の森」では、主に町内会など関係する地域の住民、企業に働きかけて、その地域に役に立つ「市民活動団体」を紹介し、資金提供、情報提供という形で地域の諸問題を一緒に取り組むことを促します。

さらに、単に資金を提供する活用するという関係だけではなく、ともに同じ目的を持ち地域を創造していくことで新しい形の社会を模索するというモデル事業です。

松阪市市民活動ボランティアセンター
〒515-0084 松阪市日野町788
TEL 0598-25-3801 FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp
http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/

中間 市民活動（支援）センター 支援 情報交換会

年末の12月12日に第3回市民活動（支援）センター情報交換会が開催され、各地公設センターの設置・運営に関わる11市町23名の担当者が集まりました。

第1部は①現場(事務局/指定管理者)と経営陣(理事会/行政担当部署)との情報共有をどのように図るか、②県内の新規市民活動センター設置の動き、③地域での社協との連携、④民営化と指定管理者制度導入の現状といった興味深いテーマについて情報や意見を交換することができました。

また、第2部では、三重県NPO室が作成した『事業報告書からみえる三重県のNPO法人2005年版』をもとに、三重県のNPO法人の現状について公開勉強会がありました。

次回の情報交換会は3月頃を予定しています。



現在改装中の
亀山市民
協働センター

地域 亀山市民協働センター 情報 オープン(H19.4.1)

市民活動の支援と協働を推進する拠点として、亀山市民協働センターが平成19年4月1日にオープンします。センターでは、市民活動情報の提供、市民活動相談、各種講座等を行います。市民活動団体の定例会、生涯学習サークル活動、展示等、様々な用途にご活用下さい。

（市外の方もご利用いただけます。）

（市外の方もご利用いただけます。）

内容 多目的ホール
会議室（3室）、作業室
（紙折機・裁断機・印刷機・コピー機）
パソコンコーナー、ロッカー
レターケース

使用料 無料
（ロッカー、コピー機、印刷機は有料）

所在地 亀山市東町1丁目地内
（亀山市バスさわやか号「東丸」停留所下車徒歩1分）

開館時間 午前9時から午後10時まで
休館日 12月29日から1月3日まで
*スタッフ募集中です。詳しくはお問合せ下さい。
募集期間：2月1日（木）から2月20日（火）

主催：三重県NPO室 e-mail: seiknpo@pref.mie.jp
TEL: 059-222-5981 FAX: 059-222-5971
URL: http://www1.mienpo.net/npot/

問い合わせ先 亀山市民部市民参画協働室
（TEL0595-84-5008）

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。「命」に関する分野でボランティア活動されている澤 孝予さんからバトンが渡ったのは水谷さん。新日本婦人の会津支部長として、一人の女性として。女性と子どもが安心して暮らせる社会づくりのために活動しています。

女性と子どものことを考えるグループ

……水谷さんの活動を教えてください。

新日本婦人の会津支部の支部長をしています。新日本婦人の会は1962年に結成された全国規模の団体で、「1、核戦争の危険から女性と子どもの生命を守ります」、「2、憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します」、「3、生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます」、「4、日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります」、「5、世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます」という5つの目的を掲げて活動しています。

……全国に支部があるのですか？

だいたい各市に支部があります。三重県でもいくつかの支部があり、津支部には350人くらいが所属しています。

……具体的にはどのような活動をしているのですか？

5つの目的に基づいて、様々な活動を行っていますので「何をやっているか？」と聞かれると困ります(笑)。例えば、平和を考える活動としては、広島と長崎に原爆が落ちた日にちなんで毎月6と9日には街頭でよびかけや署名活動を行っていますし、終戦記念日にもショッピングセンターの前でよびかけをしています。年に一回の活動としては、二酸化窒素の定点観測や地域のスーパーマーケットとの懇談、フリーマーケットへの参加などもあります。二酸化窒素の観測は津市各地で24時間、データを取り、東京の研究施設で調査してもらっています。そのデータをイベントで報告したこともありますよ。スーパーマーケットの懇談は自分が住んでいる地域のお店に出かけて、「輸入牛肉は仕入れているか」とか、「残った食品の処分方法」、「燃やすと有毒ガスが出るビニールを使用しているか」など、主婦の感覚で選んだ項目について質問をしています。快く対応してくれるお店も多いですよ。このほか、共同購入の野菜と豚肉の産直運動も行っていて、野菜は白山町の農家グループにお願いしています。今は産直活動が全国的に広がってきていますが、私たちが始めた時はまだまだ珍しかったですね。

……地産地消ですね。

それプラス安全安心。私たちは食の安全の問題にも取り組んでいますので、無農薬の野菜や玄米を配達しています。毎年、農家の方

たちと懇談を行って、野菜のリクエストをしたり、時にはじゃがいもほりに訪れたりしています。

……活動の中が広いですね。

間口が広いので、一つの事柄について追求できないのですが…。

……特に重点を置いている事柄などはありますか？

分野ではなく、活動の基盤を地域に置いていることが重点です。新婦人の会の地域の班は歩いていける範囲で作り、その班を単位にして日々の活動を行っています。私は観音寺班の班長も兼任しています。また、働いている方は地域の中で活動しづらいので、会員が3名以上いる職場では、職場でも班を作っています。私も働いていた頃は地域ではなく、職場班で活動していました。今、津支部には両方の班を合わせて23くらいの班があります。

……班ではどのような活動をしているのですか？

小組というグループを作って、様々な活動をしています。観音寺班の場合は水曜日は隔週で着付けと絵手紙。金曜日はプールで健康づくりをしています。あと、最近ではパソコンの小組もできました。

……活動テーマはどうやって決めるのですか？

各班のメンバーがやりたいことを出し合い、みんなで決めていきます。基本的には自分の班で小組を作って活動するのですが、参加者が3人以上いないとなかなか活動ができませんから、そんな時はほかの班の小組に参加することもあります。参加する方は好きな小組を選べばいいし、何もやらなくても構いません。このほか、ひと月に一度くらいみんなで集まって、気軽にお話をする場もあります。

……習い事や健康づくりという側面もあるんですね。

各班それぞれに様々な小組がありますが、健康志向は強いですね。セラバンドや水泳、ハイキング程度の山登り、ウォーキングなどがあります。私たちのプールでの活動は最初の頃は新日本体育連盟から先生に来てもらって、息継ぎを簡単に覚えられるドルヒラという泳法を教えてくださいました。60歳代の方が「初めて泳げた」と喜んでましたよ。最近は2時間ほど、水中ウォーキングをすることが多いです。

……地域を単位としている班ですから、新しい地域の繋がりができそうですね。

地域の繋がりを深めたいという意味もあります。助け合いという部分もある組織ですから、お連れ合いが入院されて困っていた男性にお弁当をみんな交代で作って、届けたこともありました。友愛の組織です。

……地域で孤立する人たちにも目を向けているのですか？

高齢者の方ももちろんですが、それよりも私は一人で子育てをしている方を助けたいと思っています。人は急に年を取るのではなく、年を重ねながら繋がりができていくのでしょうか？でも、子育ての場合は転勤などの事情で一人で困っている方が津にもたくさんいると思います。津支部にも1歳くらいまでのお子さんを対象にした赤ちゃん会と、1歳から3歳くらいまでを対象にしたおにぎりさんという小組があり、赤ちゃんのマッサージやリズム体操などを行っています。以前、赤ちゃん会を開催していた施設の隣に転勤族の方がたくさん住まわれているマンションがあって、会にお誘いしたことがありました。同じマンションなのに隣の方とも交流が無いようで、赤ちゃん会で出会ってお友だちになられたようです。お子さんが保育園

新日本婦人の会津支部 支部長



水谷由美子 さんに

聞く

や幼稚園に通い出すとそこでお母さん同士の繋がりができますが、地域での繋がりがつくりは難しいようです。

……昔のように近所で子育てをする感覚は無くなりましたね。最近では津市や市民活動センターなどで様々な育児のイベントがあるでしょう?子育て中のお母さんに話を聞くと子育てジプシーというか、あちこちのイベントに参加している方が多いようです。もちろん、なかにはお母さんたち自身が主体性を持って育児サークルを運営している方もいますし、それが一番いいのですが、なかなかそうはいかないもの。それを私たちが手助けして、あちこちの地域に子育ての場ができればいいなと思っています。

女性が生き生きと能動的に生きる

……水谷さんは入会したきっかけは?

私は1960年頃、今のNTTに入社しました。戦中から戦後にかけて育ち、男女平等や平和の問題は教育の中で教えられてきましたし、当時は労働組合運動も盛んでしたから、新日本婦人の会に入るといことは違和感が無いというよりも、むしろスムーズに入ろうと思えました。でも当初は仕事もありましたから熱心にいろいろ活動できるわけではなく、ジャズダンスやお料理、英会話などの小組に参加しているぐらいでした。

……熱心に活動するようになったのは?

16年前に病気をして仕事を辞めてからです。検診で乳ガンが見つかった翌年、胃ガンも発症しました。でも、おかげ様でガンを克服することができ、今は元気に活動させてもらっています。仕事を辞めて、観音寺班に入って活動する内に、「班長やらない?」と言われて班長になり、3年前も同じように声を掛けてもらって、支部長になりました(笑)。もちろん、無理矢理とかではないですよ。誰かがやらなくてはいけな仕事ですし、自分でも「やろう」と納得しました。

仕方がないからやるのではなく、役を引き受けた以上は積極的に活動する方がいいですよ。

……主体的な考え方ですね。

仕方がないからやるのではなく、役を引き受けた以上は積極的に活動する方がいいですよ。受動的な方を否定はしませんが、能動的な方が増えてきたら嬉しいなと思います。新日本婦人の会でも最初は「みんなの話を聞かせてもらうだけでいいわ」と言っていた方が、婦人の会の新聞を読んだり、みんなと交流したりするうちに、自分なりの考え方を持って、活動的になることもありますよ。

……会長として気を配っていることは?

会を盛り立てるためには会員を増やさないとはいけません。一年に一回くらい、津駅西の地域にチラシを新聞折り込みして会員募集をしています。連絡が来るのは2~3人というところですが、なかには数年前のチラシを見て、連絡してくる方もあります。退職したら何かを始めようと思っている方なんですよ。「何か」の



親子で楽しむリズム体操。



活動の紹介や活動資金集めのために、津まつりの時に行われるフリーマーケットにも参加しています。

選択肢に新日本婦人の会が入っていたから、チラシを持っていてくれたのだと思います。それに最近は団体に入会する時にはちょっと躊躇したり、考えたりするのだと思います。

……退職後は好きなことを…と考えている人は多いでしょうね。でも、その「何か」が探せない人も多いのだと思います。お昼にレストランに行くと女性で溢れかえっていますよね。食べることやおしゃべりで止まってしまっているのが現実ですよ。それがもっと社会的に繋がってほしいのですが…。

……他のグループとの繋がりはありますか?

1月19、20日に津リージョンプラザで行われた男女共同参加フォーラムには新日本婦人の会として展示で参加しました。また実行委員として男女平等のあるべき姿を描いた紙芝居作りにも他団体の実行委員と共に参加しました。例えば自治会などで仕事をしているのは女性なのに、役員名は男性になっているって変じゃない?など身近なことを集めたものです。

……地域の自治会などとの関わりは?

個人的には自治会の副会長を2年間させていただいたこともありまし、地域と連帯したいとは思っているのですが、今はまだ新日本婦人の会の方が忙しくて、責任を持って活動できませんので…。将来的には高齢の方の代わりに買い物に行ったりあげたり、ゴミ捨てを手伝ってあげたり。そういう細かな、本当の意味でのボランティアができればいいなと思っています。

……新日本婦人の会の活動もボランティアの一つだと思います。私もそうは思っていますけど(笑)。みんなが元気で生き生きしているのを見たり、会に入って世の中のことに自覚的になって、自分の発言ができるようになったりすると嬉しいですね。女性が生き生きと活動しているのは、どの家庭にとってもいいことだと思います。

新日本婦人の会津支部

Tel.059-225-2284

水谷由美子さんはこの人を紹介します。

石崎 豊さん

アマチュア落語家、切磋亭琢磨として寝床の会という落語会を開催するほか、ボランティアでいろいろなイベントにも参加しています。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

100

PRINTED WITH SOYINK

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。